

「多文化共生」を 目指した 市の取り組み

市では、市内に住む外国人の沼津での暮らしがより充実したものに
なるように、様々なサポートや講座の開催などを行っています。

英語や中国語はもちろんミャンマー語 やクメール語など19の言語に対応中！

常駐している通訳に加え、タブレットを使って各
言語のオペレータにつなぎ、外国人と職員の間に入り
通訳を行う「テレビ通訳サービス」を開始しました。
市内に住む外国人の9割以上の人の母国語に対応
できるようになり、よりスムーズなサービス提供に
つながっています。



ポルトガル語
Conveniente!
(便利です!)

やさしい日本語などで情報発信中！ Facebook「おしえてぬまづ」を開設

外国語版広報ぬまづや外国人向けの生活便利帳に
加え、より外国人に情報を届けやすいFacebook
による情報発信を始めました。

外国人の生活に関することや、市のイベント・講
座について、地震・台風などの災害・緊急情報など
をお知らせしています。沼津での生活をより豊かに
してほしいという思いから、
市内の観光スポ
ットや、美しい
風景などの写真
もアップしてい
ます。



Facebook
「おしえてぬまづ」



外国人住民向け防災講座

災害の備えや対応について知識を
深め、訓練をして緊急時に備えます。



地域の一角として
助けあうために

日本語教室

日本語や日本の生活習慣などを学
べる教室を毎週開催しています。



日本人のボランティア
を募集中！

国際交流フェア

様々な国籍の人と気軽に交流した
り、文化体験をすることができます。



相互理解を深める
交流の場！

多文化共生ボランティア

外国人が日本語を学ぶお手伝い
をするものやホストファミリーと
して受け入れるもの、通訳・翻訳を
行うものなど、様
々な種類のボラン
ティアがあります。 詳細はこちら

一緒に活動する
仲間を募集中！



詳細はこちら

市内には、多くの外国人や外国にル
ーツを持つ人がそれぞれの思いを持っ
て暮らし、様々な場面で活躍していま
す。言葉や文化の違いを「分からない
から」、「私たちが違うから」と距離
を置いてしまつのは、少し寂しいこと
だと思いませんか。意思疎通をしてみ
たら意外共通点があったり、距離が縮
まることもきっとあるはずですよ。
また、私たちが当然だと思っている
生活習慣やルールなど、異なる国や文
化の人からすると知らなかったり分
からないこともたくさんあります。「知
っているはず」、「分かっているはず」と
思わずに、「コミュニケーションを取
てみましょう。普段から周りにいる外
国人と挨拶や笑顔を交わすことで、お
互いの疑問や困りごとを伝えやすくな
ったり、もしものときに助け合う関係
を築くことにもつながります。
市内に暮らす様々な文化的背景を持
つ人たちは、私たちと同じ地域の一員
です。皆さん一人ひとりがそのことを
ふまえて「多文化共生」について考えるこ
とは、本市が目指す「多様性を認め合
い尊重するまち」の実現に繋がるので
はないでしょうか。



上手に コミュニケーションを 取るコツ

言葉や文化の違いがありながらも互
いにいい関係を築いている人たちは、
どのように「コミュニケーションを取
っているのでしょうか。
市内で保冷材を作る会社、トライ・
カンパニーで働くロウ・ケン・ウェイ
さん、藤平悟さん、2人の上司の清水
瑠偉主さんにお話を伺いました。

「コミュニケーションは 言葉だけじゃない

「日本語は勉強中ですが、仲間と働
くのは楽しいです」というケンさんは、
保冷材を作る会社の製造チームで機械
のオペレーションや製品の箱詰め作業
などを行っています。

「話のトキのポイントは笑顔ですね。
言葉は完全に通じなくても、好意的な
ことは伝わるんじゃないかな。ケン
さんの先輩の藤平さんは、アイコンタ
クトを取りながら、身振り手振りを交
えてケンさんに仕事を教えています。

「藤平さんの笑顔は安心しますよね。
僕も大好きです」という工場長の瑠偉
主さんは、働く仲間にはそれぞれの母
国語で挨拶をするそうです。

笑顔やちょっとした工夫が、お互い
の距離を縮めることに繋がっているよ
うです。

国籍や文化の前に ひとりの人間同士

会社に入るまで外国人と関わる機会
はほとんどなかったという藤平さん。
話すときに気を付けていることは、自
分の意見を押しつけない、相手の意見を
尊重することだそうです。「でもそれつ
て、日本人同士でも同じことですよね。
育った環境が違えば性格も考え方も違
う。気遣いや認め合う気持ちは、相手
が誰でも大切です」と話します。

瑠偉主さんは顔きながら「想像力も
大切です。違う文化を持つ相手の言動
には、その人なりの理由があるんです」
と話してくれました。

言葉や文化の違いを個性として尊重
し、分かり合おうとすることでお互い
の理解が深まります。

お互いを知って 「好き」を見つけよう

ケンさんは藤平さんの面倒見がよく
柔軟なところ、藤平さんはケンさんの
フレンドリーな場を盛り上げてくれる
ところが好きだといいます。瑠偉主さ
んは「二人ともいいところがたくさん
あって、チームに欠かせない存在です」
と話します。

もっと知ることで相手のいいところ
が見つかり、より楽しい「コミュニケー
ション」へと繋がります。



ブラジル国籍から
日本に帰化した
清水瑠偉主さん

マレーシア生まれの
オーストラリア人
ロウ・ケン・ウェイさん

日本人の
藤平悟さん